

デモグラフィック

No. 361

民主主義学生同盟
市大支部機関紙 1/28

2.4 沖繩ゼネストに連帯し 全大阪総決起に起とう

全市大の学友諸君、沖繩では二月四日、米民政府の「新集合所布令」に抗議、「基地撤去」即時全面復帰、「B52即時撤去」を要求するゼネストが実施され、このうち、県民共斗会議を中心に全島24時間ゼネストでもって、全沖繩県民の一割(10万人)以上が、沖繩最大の基地である嘉手納基地を囲撃集会を開くとしている。下田発言、佐藤内閣の敗北的一体化政策、核基地付返還の策動と対峙し、沖繩県民の人権を蔑視したファシヨ的な米民政府の「新集合所布令」粉碎の為に立ちあがっている。「新布令は、以前にもまして反動的なものであり、治安維持など、同じであり、立法院は全会一致で布令即時撤回を米民政府に要求した。沖繩の闘いの巨大前進は、主席公選、那覇市長選挙勝利の上に県労協、沖繩教職員会、祖国復帰協、沖繩原水協の強固な統一戦線の力であり、同時にそれと固く連帯した本土に於ける労資階級を中心とした闘いであった。しかし、本土に於ける統一戦線の形成は未だ十分であり、その事は佐藤の一体化策動を粉碎しないという要因となっている。沖繩県民と固く連帯し、佐藤内閣の反動的な沖繩「返還」路線に対する闘いを、佐藤打倒、安保放棄斗争の一環として展開しなければならぬ。24沖繩ゼネストと連帯し全大阪総決起に起とう。

政府・自民党の反動的大学再編に反対し 大学の民主的改革を闘いよう

政府文部省は、東大への秋田隊導入を突破口として、全国各地で斗われている学園民主化斗争を圧殺し、副学長設置等を含む大学再編成の策動にやっきとやっている。独占に奉仕する大学としての大学院大学理想は大学の格差付けを意味するものであり、副学長の任命は管理権をデコに大学自治への襲撃を干渉である。この様な政府文部省の反動的文教政策は、科学と民主主義の理念、彼等の黒い策動を塗りかえようとするものである。学園での民主化斗争の高揚に対し、封鎖を自己目的化し、民主化の闘いを放棄したトロツキズム諸派の大学コミュニケーション論は、その意図にかけわらず、客観的には政府の策動を助けている。一方、民権諸君は封鎖解除にのび立ち、民主化の具体的な内容を闘い、そのことを放棄している。

我々学生は学園の自由を守り、有教無類の反動的文教政策を粉碎するのは、大学の民主的改革へ全学協議会、確立、教授会の形成、運営の民主化、学生参加等)を全大学人の手で勝ちとり、斗争の砦を強固にしていく事によってのみ可能であって、教授会は大学「破壊」路線によつては、この事業を遂行できない。これは自明の理である。東大、日大、明大、中大への秋田隊の介入は政府の反動的大学再編成の策動の突破口としてあるが故に断固反対しなければならない。市大に於ける斗争は昨日、市長、助役との会見は行われ、医学部に於ては、教授会の意見拒否の責任追求、医学部民主化の具体案提出要求、学部長退陣、教授会自己批判を要求し、一、六回生はストライキ、授業放棄を闘っている。学友諸君、市大民主化斗争を勝利させよう。